

令和2年度(10月~12月) 日程表 **Schedule**

| 2020 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | |
|------|--|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|---|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|---|
| 10 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
| | 〈展示室1〉普通展示(浮世絵):月岡芳年 風俗三十二相(〜10/11) | | | | | | | | | | | | 〈展示室1〉普通展示(浮世絵):街道絵の世界(10/13〜11/15) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 〈展示室2〉普通展示(東洋陶磁):茶碗の造形美(〜12/20) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 〈展示室3〜6〉特別展示:三輪龍氣生展 一行け、熱き陶の想いよ。(〜12/20) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 〈展示室7〉特別展示:三輪龍氣生展 龍人伝説(〜2021/3/7) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 〈展示室8〉特別展示:三輪龍氣生展 一行け、熱き陶の想いよ。(〜12/20) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 〈特選鑑賞室〉鈴木春信 坐鋪八景 鏡台の秋月(10/1〜10/31) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 〈茶室〉沖 潤子「anthology」(アンソロジー)(〜2021/3/28) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 10/8〜10/14 ミュージアムライトアップ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 11 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | | |
| | 〈展示室1〉普通展示(浮世絵):街道絵の世界(〜11/15) | | | | | | | | | | | | 〈展示室1〉普通展示(浮世絵):月岡芳年 新形三十六怪撰(11/17〜12/20) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 〈展示室2〉普通展示(東洋陶磁):茶碗の造形美(〜12/20) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 〈展示室3〜6〉特別展示:三輪龍氣生展 一行け、熱き陶の想いよ。(〜12/20) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 〈展示室7〉特別展示:三輪龍氣生展 龍人伝説(〜2021/3/7) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 〈展示室8〉特別展示:三輪龍氣生展 一行け、熱き陶の想いよ。(〜12/20) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 〈特選鑑賞室〉東洲斎写楽 三代目瀬川菊之丞の田辺文蔵妻おしづ(11/1〜11/29) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 〈茶室〉沖 潤子「anthology」(アンソロジー)(〜2021/3/28) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 11/1〜11/7 普通展示観覧無料(教育・文化週間) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | |
| | 〈展示室1〉普通展示(浮世絵):月岡芳年 新形三十六怪撰(〜12/20) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 〈展示室2〉普通展示(東洋陶磁):茶碗の造形美(〜12/20) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 〈展示室3〜6〉特別展示:三輪龍氣生展 一行け、熱き陶の想いよ。(〜12/20) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 〈展示室7〉特別展示:三輪龍氣生展 龍人伝説(〜2021/3/7) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 〈展示室8〉特別展示:三輪龍氣生展 一行け、熱き陶の想いよ。(〜12/20) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 〈特選鑑賞室〉溪斎英泉 美艶仙女香 はつ雪や(12/1〜12/20) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 〈茶室〉沖 潤子「anthology」(アンソロジー)(〜2021/3/28) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

「三輪龍氣生展 龍人伝説」は12月20日[日]までは特別展示「三輪龍氣生展 一行け、熱き陶の想いよ。」の一部として開催します。

■ 休館日 ★ イベント ▲ アーティスト・トーク ● ギャラリー・ツアー ■ ギャラリー・トーク

- ★ イベント**
- おもてなしキャンペーン(10月13日[火]〜11月15日[日]、11月22日[日])**
- 「普通展示『街道絵の世界』出品作品による浮世絵まがいさがし」
 実施日●10月13日[火]〜11月15日[日]
 内容●まがいさがしに参加、正解された方に美術館オリジナルグッズをプレゼント。(なくなり次第終了)
- 「来館者プレゼント」
 実施日●10月13日[火]〜11月15日[日]
 内容●展覧会を鑑賞される方に美術館オリジナル「アマビエシール」をプレゼント。(なくなり次第終了)
- 「開館記念日」
 実施日●10月14日[水]
 内容●特別展示、普通展示の観覧料無料、浮世絵スタンプラリーの実施。
- 「教育・文化週間」
 実施日●11月1日[日]〜11月7日[土]
 内容●普通展示の観覧料無料、土・日・祝は浮世絵スタンプラリーの実施。
- 「浮世絵スタンプラリー」
 日時●10月14日[水]、11月1日[日]、3日[火・祝]、7日[土]
 内容●館内をまわって葛飾北斎「富嶽三十六景 凱風快晴」のポストカードをつくります。
- 「いい夫婦の日」
 実施日●11月22日[日]
 内容●ご夫婦で展覧会を鑑賞された方に美術館オリジナルチケットホルダーをプレゼント。(先着50組)
- 「親子見学会」
 講師●上原 理美 氏(陶芸家)
 日時●11月23日[月・祝]、10:00〜14:00
 内容●特別展示「三輪龍氣生展 一行け、熱き陶の想いよ。」学芸員の解説付き特別展示鑑賞と萩焼アマビエ体験ワークショップのセットプログラム。
 定員●山口県内在住の小学生とその保護者ペア 先着各回4組
 参加費●2,000円(1組)
 申込方法●10月17日[土]9:00より受付開始。
 ☎0838-24-2400にて、①〜④をお知らせください。
 ①参加希望回 ②参加者の氏名 ③年齢(学年) ④電話番号

- 「ミュージアムライトアップ」
 日時●10月8日[木]〜10月14日[水]18:00〜21:00(予定)
 内容●「萩・竹灯路物語」(9、10日)の開催にあわせ建物外観のライトアップを実施。
- ▲ **アーティスト・トーク**(三輪龍氣生氏による特別展示作品解説)
 日時●10月17日[土]・11月21日[土]・12月19日[土]14:00〜15:30
 定員●各日20名(要事前予約・要観覧券)
- **ギャラリー・ツアー**(担当学芸員による特別展示作品解説)
 日時●毎月第2・4日曜日(ただし、11月22日[日]を除く)11:00〜12:00
 定員●各日20名(要事前予約・要観覧券)
- **ギャラリー・トーク**(担当学芸員による普通展示作品解説)
 いずれも11:00〜(30分程度)
 10月10日[土] 茶碗の造形美
 10月24日[土] 三輪龍氣生展 龍人伝説
 11月14日[土] 街道絵の世界
 11月28日[土] 月岡芳年 新形三十六怪撰
 12月12日[土] 三輪龍氣生展 龍人伝説
 定員●各日10名(要事前予約・要観覧券)
- ※アーティスト・トーク、ギャラリー・ツアー、ギャラリー・トークの事前予約について
 ☎0838-24-2400にて、①〜④をお知らせください。
 ①参加希望日 ②参加者の氏名 ③年齢 ④代表者の日中の連絡先電話番号
- ※アーティスト・トーク、ギャラリー・ツアー、ギャラリー・トークへのご参加には観覧券が必要です。
 ※イベント詳細については美術館ホームページをご覧ください。
- ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、臨時の休館やイベントを中止・変更する場合があります。
 詳しくは当館ホームページをご覧ください。
- お問い合わせ TEL: 0838-24-2400 URL: <https://www.hum.pref.yamaguchi.lg.jp/>

- 交通アクセス**
- 【新山口駅から】**
- 直行バス「スーパードライ」(約60分)で萩・明倫センター下車、徒歩約5分
 - 防長バス(約95分)で萩バスセンター下車、徒歩約12分
- 【山口宇部空港から】萩・石見空港から**
- 萩近鉄タクシー(乗合タクシー)約70〜80分(利用前日までに要予約)
- 【JR山陰本線】**
- JR萩駅から萩循環まあるバス(西回り)約30分
 - JR東萩駅から萩循環まあるバス(東回り)約30分
 - JR玉江駅から徒歩約20分
- 【自動車】**
- 「中国自動車道」美祿東JCT経由、「小郡萩道路」絵堂ICから約20分
 - 「山陰自動車道」三見ICから約10分、国道191号沿い



山口県立萩美術館・浦上記念館 Hagi Urugami Museum 〒758-0074 山口県萩市平安古町586-1 TEL0838-24-2400 FAX0838-24-2401 URL <https://www.hum.pref.yamaguchi.lg.jp/> Find us on Facebook

季刊「萩」令和2年(2020)10月15日通巻第97号 発行/山口県立萩美術館・浦上記念館 山口県萩市平安古町 586-1

H A G I 萩

AUTUMN ISSUE 2020

97

題字は吉田松陰筆跡



三輪龍氣生(一行け、我が想いよ、黄金の翼に乗って) 2018年 46.0×48.0×21.0cm HAGI URUGAMI MUSEUM



図1 「女帝・荘厳」2015年 43.0×108.0×50.0cm
菊池寛実記念 智美術館蔵
Empress, Magnificence
Musée Tomo

「三輪龍氣生展—行け、熱き陶の想いよ。」に寄せて

「女帝」—三輪龍氣生と菊池智

島崎慶子

(菊池寛実記念 智美術館主任学芸員)

三輪龍氣生(十二代三輪休雪／1940～)は「女帝」と題した作品を2015年に三点制作している。羊を想起させる動物の頭蓋骨から角や体がうねるように左右へ広がっていく動感ある造形に赤い口紅の意匠が印象的である。三点のタイトルには、「女帝」の後ろにそれぞれ「春」、「夏」、「荘厳」という言葉が続く。《女帝・春》(図2)と《女帝・夏》(図3)はともに開いた脚の中央に頭蓋骨が配されたような形で、《女帝・春》はその頭部を除いて全体に羊の肌色のような薄いピンク色の土が塗られ、表面には鬚が彫りこまれている。一方、《女帝・夏》にはオレンジ色系統の土が塗られ、表面の質感も滑らかで人肌のようなものである。二点ともに焼成温度が高くないため、土に柔らかい雰囲気があるのも特徴で、焼して現れる黒色が効いている。また、頭部の裏に臀部が形作られ、その丸みと存在感ある菊門の明け透けな艶めかしさに衝撃を受ける。この二点とは異なり、金彩で覆われているのは仏教用語の荘厳をタイトルとした《女帝・荘厳》(図1)である。造形も他の二点に



図3 「女帝・夏」2015年 35.4×68.0×33.0cm 菊池寛実記念 智美術館蔵
Empress, Summer Musée Tomo

比べると抽象的で、厳かな佇まいである。

三輪は一貫して「エロス(愛)」と「タナトス(死)」をテーマに陶で具象的な造形作品を発表してきた。明快、明断な意思のもと造形化される三輪の作品は、鑑賞者の内奥に潜む感情を刺激し、命に訴えかける。素材や技法、技術力や機能の在り方を問うて為される制作とは一線を画し、陶の造形で人間の本质そのものを形にしようとするのである。「女帝」シリーズもその三輪作品特有の生命力を宿している。

これら三点の「女帝」を所有したのは菊池智(1923～2016)という女性であった。菊池は現代陶芸のコレクターで、自身のコレクションを母体に2003年に東京虎ノ門に菊池寛実記念智美術館を創設し、主に戦後の陶芸作品を紹介する場とした。美術館の設立以外にも、1974年からホテルニューオータニのロビー階に「現代陶芸 寛土里」(2020年3月閉店)というギャラリーを経営し、多くの陶芸家と親交を持ち、現代の陶芸作品を愛した人物であった。



図2 「女帝・春」2015年 31.7×64.3×33.6cm 菊池寛実記念 智美術館蔵
Empress, Spring Musée Tomo



左：菊池智 右：三輪龍氣生 2015年6月4日 菊池寛実記念 智美術館にて
作品ともに撮影：伊藤ゆうじ

その菊池寛実記念 智美術館では2013年に三輪壽雪(十一代休雪)と十二代休雪の作品を紹介する「三輪壽雪・休雪—破格の創造」展を開催した。当時、展示会場を観た菊池は三輪へ、いずれ十二代休雪の個展を開催したい気持ちがあることを伝えていた。それに対し、三輪が個展のテーマとして提示したのが「女帝」シリーズ三点だったのである。「女帝」というタイトルもさることながら作品の顔が菊池に似ているようにも見えるため、制作にあたってのモデルが菊池なのではないかと想像してしまうが、開脚の造形は初期の作品にもあることや、以前から三輪は骨に興味を持ち動物の頭蓋骨のような作品も制作していることを考えると、この「女帝」シリーズは菊池智を表したというよりも、菊池からの打診が刺激となって幾つかのイメージが融合、展開して生まれた作品群と捉えるのが自然なのであろう。

しかし「女帝」シリーズを手にした翌年の2016年に菊池智が死去する。菊池と三輪の信頼関係を基礎としていた個展の構想は中断されることとなった。同時に、「女帝」シリーズを発表するためのしかるべき方法と時期が当館にとっては懸案となったのである。そのような中、2019年に十二代休雪が十三代へ家督を譲り、龍氣生と陶号を改めた。そして、2020年9月から山口県立萩美術館・浦上記念館で「三輪龍氣生展」が開催されることになり、2021年4月から当館でも巡回開催させていただくことが決まった。菊池の死去から約4年経って「女帝」シリーズを広く紹介する機会が訪れたのである。

三輪龍氣生の自由な創造性について初期から最新作までを通して紹介する「三輪龍氣生展」に先立ち、当館では現在、「継ぐ—今泉今右衛門、酒井田柿右衛門、三輪休雪、樂吉左衛門」展と題し、継承するやきものに表す制作者の創意に焦点を当てた展覧会を開催している。2019年には三輪家だけでなく、京都の樂吉左衛門も襲名と改名を行っており、陶芸に

おける様々な継承の在り方を紹介する機会として、菊池のコレクションを中心に企画構成した。十二代三輪休雪に関しては「三輪龍氣生展」への繋がりを考え五点展示し、《女帝・夏》も公開中である。しかしその「三輪龍氣生展」へ向けた計画に、新型コロナウイルスへの対応のために、多少変更が生じている。当館が本年4月から6月末まで休館せざるを得なくなり、当初4月11日から8月10日までであった「継ぐ」展の会期を7月1日から11月29日までに変更することになったのである。本来は9月から萩美術館・浦上記念館での「三輪龍氣生展」で「女帝」が三点とも展示されるはずであったが、《女帝・夏》はこのまま11月29日まで当館での展示となり、萩では《女帝・春》と《女帝・荘厳》の二点が公開されることとなった。

「三輪龍氣生展」を当館で開催する来年4月は、新型コロナウイルス対策下で政府が緊急事態宣言を発令した本年4月からちょうど一年が経過した時期ということになる。その頃の東京がどのような状況になっているのかは想像もつかない。ワクチン開発・確保の目は立っているのか。東京に全国からの活発な往来があるのか。海外渡航の制限はどうか。いずれにしても未だコロナ対策に揺れているであろう東京で、三輪龍氣生の作品を紹介する意味を考える。

それは、人類にとって苦難の時だからこそ「生の本能」と「死の本能」という三輪がテーマにしてきた人間存在の根源的な在り方を問うことであろう。菊池智は個展打診にあたって、作品に合わせて展示室を作りかえることも厭わないと三輪に伝えていた。それほどに作品に惹きつけられ、展示を望んだということであるが、「三輪龍氣生展」巡回開催という機会を得て、三輪作品を観たことのない多くの人々にまでそのエネルギーが届き、心に灯をともし、鼓舞する、人間賛歌のような展覧会にできればと考える。

つきおかよしとし
月岡芳年
 しんけいさんじゅうろっかいせん
新形三十六怪撰

会期 令和2年(2020)
 11月17日[火]～12月20日[日]

「新形三十六怪撰」は、月岡芳年(1839～1892)の晩年の代表作です。伝説や歴史物語、謡曲などをもとに描かれた古今の妖怪や幽霊たちは、繊細な描写と豊かな色彩により、妖気を醸し出しています。

今回の展示では、36図に目録を加えたシリーズ全作品を紹介します。



月岡芳年「新形三十六怪撰 おもみつゝら」大判錦絵 明治25年(1892)

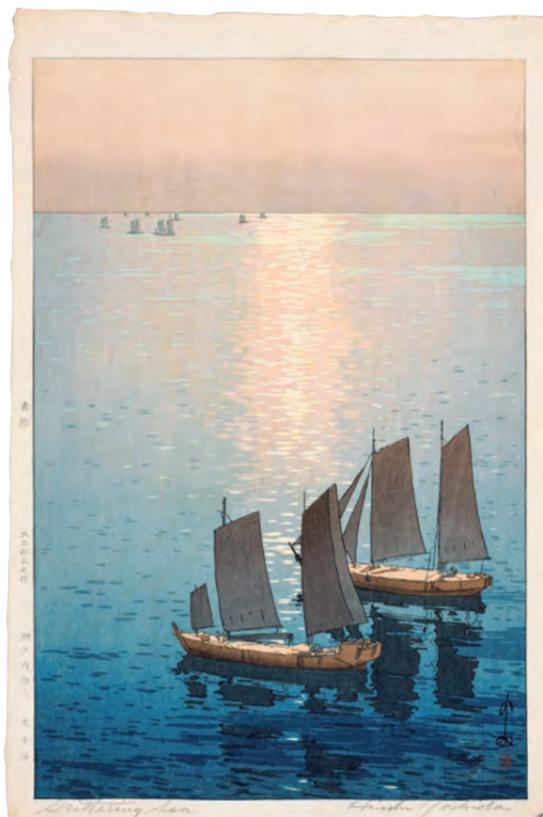
よしだひろし ふうけいはんが
吉田博の風景版画

会期 令和3年(2021)
 1月2日[土]～1月31日[日]

明治から昭和にかけて活躍した風景画家の第一人者として知られる吉田博(1876～1950)。大正期以降の後半生には、木版画家としても精力的に活躍しました。

「新版画」を制作する版元の渡邊庄一郎と知遇を得て、大正10年(1921)から翌年に、7点の木版画を渡邊のもとで制作したのがはじまりでした。その後、3度目に訪れたアメリカの地で、日本の木版画が人気を集めていることを確信し、帰国した大正14年(1925)以降、彫師と摺師を自らがリードして制作する私家版の制作に励みました。

今回は、自摺と称した私家版から32点をご紹介します。



吉田博「瀬戸内海集 光る海」大正15年(1926)

中国やきもの入門(華南編)

会期 令和3年(2021)
 1月2日[土]～3月7日[日]

中国のやきものは歴史が古く、その始まりは約一万年前に遡ります。長い歴史の中で、中国全土では多種多様なやきものが作られてきました。中国は一般的に淮河を境にして、華北と華南に区分され、気候・生活・文化などの面で異なります。異なった文化の中で、華北と華南のやきものにはそれぞれ独特な特徴がみられます。

本展では、中国華南地方に焦点を当て、戦国時代の灰陶・灰釉陶、越州窯・龍泉窯の青磁、景德鎮窯の青白磁・青花磁器・色絵磁器など、中国華南地方を代表するやきものをご紹介します。



黄釉緑褐彩草文碗 晩唐～五代

はなやぎのかたち

会期 令和3年(2021)
 1月2日[土]～3月7日[日]

陶芸は、長い陶磁史のなかでひととき輝きを放っています。近代以降、芸術活動としての作陶という新しい方向に展開したやきものは、機能性や使うシーンを気にせず、自由な表現が可能となりました。

本展覧会では、陶芸の発展期に活躍した荒川豊蔵(1894～1985)、濱田庄司(1894～1978)、三輪壽雪(1910～2012)をはじめ、磁土の白と呉須の青を基軸に制作する松本ヒデオ(1951～)の大型作品など、造形表現とわざが織りなす作品の数々を紹介します。



松井康成 1984年頃 <練上青瓷皿>(染野義信氏・啓子氏御遺族寄贈)

茶室

沖潤子「anthology」(アンソロジー)

会期 令和2年(2020)4月4日[土]～令和3年(2021)3月28日[日]